

一般会計予算

総額 132億200万円

「統合中学校」や「道の駅」の建設事業などを引き続き進めていきます。



●平成24年度 主な事業

事業名	予算額
姉妹都市提携事業	100万円
役場本庁舎整備検討事業	106万円
統合電算システム等構築（増設・更新）	2億6,564万円
防災総合訓練事業	137万円
防災無線デジタル化更新事業	500万円
なかのと四季イベント開催事業	200万円
中能登百物語写真集作成事業	100万円
道の駅整備事業	4億7,420万円
町道改良・舗装工事（地区要望事業）	5,000万円
社会資本整備総合交付金事業（道路新設改良・下水道事業）	4億6,328万円
道整備交付金事業（道路改良・舗装）	3億5,602万円
住宅・建築物耐震改修促進事業	304万円
緊急時給水拠点確保等整備工事（水道事業・資本）	4億160万円
水圧適正化整備工事（管路・舗装）（水道事業・資本）	2億9,550万円
町農産物特産品商品化支援事業	92万円
県営土地改良事業費（ほ場整備等）	1億439万円
ケーブルテレビハイビジョン化事業（CATV 特会）	7,400万円
町地域福祉計画策定事業	267万円
グリーンカーテンコンテスト開催事業	15万円
PET - CT 検査費用助成事業	100万円
統合小学校実施設計業務	4,200万円
統合中学校新築等工事	32億2,933万円

●平成24年度 特別会計予算

会計名	予算額
後期高齢者医療特別会計	2億3,040万円
介護保険特別会計	19億2,300万円
国民健康保険特別会計	21億500万円
下水道事業特別会計	15億6,068万円
分譲宅地造成事業特別会計	4,906万円
ケーブルテレビ事業特別会計	1億5,439万円
水道事業会計 収益的支出	3億2,574万円
水道事業会計 資本的支出	8億6,171万円

現在の国の景気動向は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直していると言われております。しかしながら、欧州の政府債務危機の影響などにより景気の下押しが懸念され、雇用情勢についても依然として厳しい状況です。

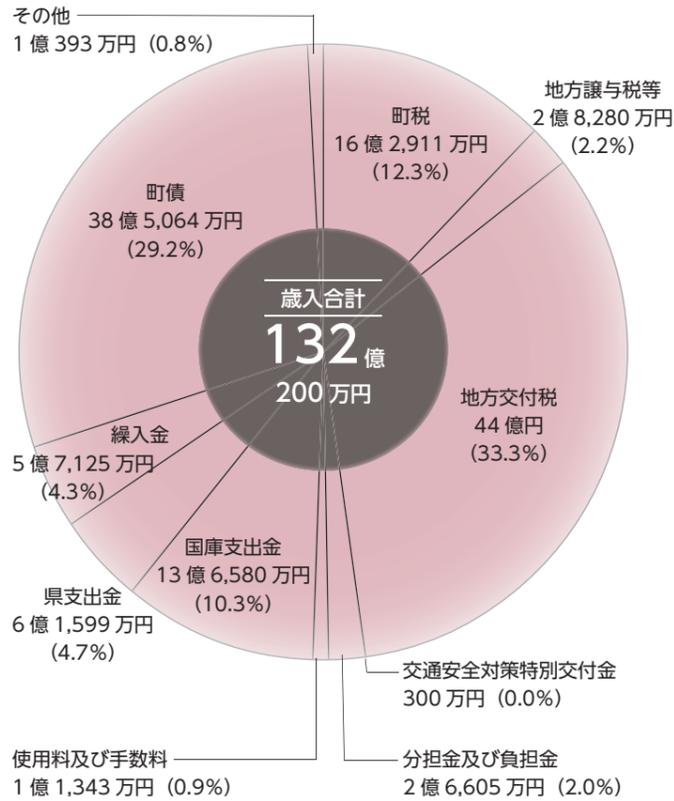
平成22年度決算における本町の財政状況を見ると、経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率等の財政指標が一定程度改善されるとともに財政調整基金が増加し地方債現在高が減少するなど好転の兆しが見られるものの、依然として地方交付税や各種交付金などの依存財源に頼らざるを得ない状況です。

本町の平成24年度の財政見通しについては、歳入では、税収の大幅な増額を見込むのは厳しい状況で、根幹的な歳入一般財源の確保は益々厳しくなる状況です。他方、歳出では、平成25年春開校予定の統合中学校建設事業や道の駅整備事業、そして、下水道施設整備など過去に実施してきた社会資本整備に係る償還金と少子高齢化の進展に伴う社会保障関係費が増大することは必至です。

さらに、平成27年度から普通交付税の合併特別加算措置の段階的減額が始まり、平成32年度からは、平成23年度の確定額と比較して約10億円あまりの大幅な減額となる見込みです。

平成24年度予算については、経費の削減を徹底しながら、効率的で効果的な行政執行と将来にわたり持続可能な財政運営の確立を念頭に置いた予算編成となっています。

一般会計 歳入



一般会計 歳出

